

# 愛だとか道徳だとか、腑抜けの阿呆どもの言っていることを許すな！

立派で尊敬されようと思うなら、そのために開発された我々の薬を飲め！

Greatchain

2020/08/16

今、アメリカ全土起こっている、途方もない、破壊行為や破壊思想を、彼らが思い上がっているような言葉で言うとしたら、上記のようなことになるだろう。政治責任者のかなり多くの者が（警察廃止、刑務所解体、裁判所停止などについて）言っている——「いま一気に破壊するチャンスだ！」

先日の記事にあった、COVID-19 ワクチンを「これしかない」と、聖なる義務のように押し付ける公的な医師団も、本音ではそう言うであろう。彼らは、「**宗教的**または個人的な反対を許すな、ワクチン接種を拒否する者を処罰せよ」と言っている。この「宗教的」というところに注目すべきである。

彼らが「宗教的」と軽蔑して言っているのは、実は、彼らが最も恐れる、反唯物論のことである。「それしかありえない」という悲壮な宣言が、絶望的な、一種の陶酔をもたらす。殺せ、殺せ、殺しつくせ！ ジャガーノートを曳け、曳け、曳きつぶせ！——と彼らは言っている。

これはアメリカ帝国が常にやってきたことである。本国と外国（中東など）の見分けが、ついにつかなくなった。私が、自分で訳して掲載したもので、最もこの陶酔的虐殺を感じさせるのは、モスルの大虐殺である。「モスルの血の池：我々はあらゆる者を殺した——IS、男、女、子ども！」 <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170729.pdf>

そして、この宗教への軽蔑で、実はそれが科学であるがゆえに、彼らが最も恐れているのは、ID 理論である。「**インテリジェンス**とか、**デザイン**とか、**腑抜けの阿呆どもの言っていることを許すな！**」と彼らは言っている。特にわが国では、おくびにも出すことを許されないが、彼らの ID 批判は、実はそういうキチガイじみたものである。彼らの ID 叩きは、現在のアメリカの不穏な空気をよく反映している。我々はこれを癌として植え付けられ、成長し続けているように見える。もしこの欺瞞に気づくことなく、我々が騙され続けるならば、国民的レベルの知的大停滞が起こることは間違いない。

ここに紹介する ID ニュースは、敏感に世情を反映して、連日論じられている論文の一例である。責任ある報道関係者や教育者は、よくお読み願いたい。何が根本的な問題なのだろうか？

## 「モラリティ・ピル」：倫理学者が COVID 不服従を解決するための ドラッグを要求

Richard Weikart, *Evolution News & Science Today*

August 14, 2020



雑誌 *The Conversation* <https://theconversation.com/morality-pills-may-be-the-uss-best-shot-at-ending-the-coronavirus-pandemic-according-to-one-ethicist-142601>

で、倫理学教授の Parker Crutchfield が、COVID-19 をめぐる政府命令への、広範囲な反対および/または不服従を、解決するための方法を提案している——人々をもっと協力的にするために、彼らに化学薬品「**道徳薬=モラリティ・ピル**」を与えよ、というものである。彼はこう述べている：——

「COVID-19 は集合的リスクである。それはあらゆる人を脅かし、我々は全員が協力して、コロナウィルスが誰にでも与えうる、害悪の率を低くしなければならない。その一つとして、安全な社会的距離を保つことと、マスクを着けることが要求される。しかし多くの人々は、これ守ろうとせず、感染拡大の危険を大きくしている。」

コロナウィルスに関する政府の命令を、人がどう考えようと、クラッチフィールドの「解決」は、問題そのものより、もっと悪いものだ。

## 「道徳的向上」を求める

西ミシガン大学で教えているクラッチフィールドは、人々を「道徳的に向上させる」ためには、ホルモンその他のドラッグを用いなければならないと言う。この考えは、**トランスヒューマニスト運動**の内部で、広く唱道されてきた。これは、人間をより高いレベルにまで進化させようとする運動である。この非人間化的な見方には多くの問題があり、私の本『人間性の死：および生命の主張』の最終章で、手短かにこのように論じている：――

まず、「道徳的向上」という概念が、怪しげな科学に基づいている。それは、人間の振舞いが、遺伝的に決定されたものという考えに基づいているが、それは大に疑問の余地のある立場である。さらには、クラッチフィールド自身がこの論文で説明していることだが、ホルモンのあるものは、人が変えようと思っている振舞いより、もっと問題になりうる、予期しなかった結果を産み出すことがある。「オキシトシン」という、「道徳的向上」推進派の、評判になっているホルモンの一つは、内部グループの協力は促進するようだが、外のグループに対しては、敵意を助長する可能性がある。したがってそれは、自分の属する社会への順応性は、確かに増加させるかもしれないが、人種差別をも増加させると思われる。もしそれが人種差別をもたらすとしたら、COVID-19 規制への順応力が強化されることを、我々は本当に望むだろうか？

## ニーチェ的解決

第二に、トランスヒューマニストたちは、客観的道徳に対するいかなる根拠も持っていない。したがって彼らが、道徳の促進について話すときは、いつでも、個人的に道徳的だと彼らが考えることを、勧めているだけである。もし他の人々が、彼らの道徳ビジョンに合致しなければ、それを調整する方法はない。(他者に対して自分の道徳を押し付ける権力者に、依存する以外にない――すなわち、ニーチェ的解決。) このことは、大衆に「道徳ピル」として与えられるものは、すべて、テクノクラート・エリートの道徳ビジョンなのであって、客観的な道徳スタンダードを促進することではないことを意味する。

第三に(そして、これは第二点から流出するものだが)、この道徳は客観的なものではないから、進化(ダーウィンの)の過程における「より高い」道徳などというものはない。「より高い道徳」という言葉は、目的論を前提とする。だから、もしトランスヒューマニストが、彼らの唯物論的な進化論と理屈を合わせようとするなら、彼らは「よ

り高い」という考えをもつことはできない。なぜなら、何かがそこへ向かって動きだそうとする目的 (telos) が、何もないからである。もう一度言えば、これは、トランスヒューマニストが、完全に主観的だということ——自分の意志を他者に押し付けることのできる者の、気まぐれによって動くことを意味するだろう。

最後に、もし人々が本当に、これほど「道徳的向上」を求めているとしたら、どうしてこのような者たちに、生物操作 bioengineer された道徳的向上を、任せられるだろうか？ もし、テクノクラートもまた、「道徳的向上」を求めているとしたら？——その考え全体が前提としていることは、支配者のテクノクラートたちは道徳的に振舞っており、あらゆる他の者に、それを教えることができるということである。これは、知的エリートたちが、我々の社会の他の者たちよりも、もっと道徳的だという前提に立つものである。その逆が真理だと——私のように——考えている人々がいる。**我々の社会の知的エリートたちは、何十年もの間、不道徳を推進してきた。**そして、もし誰かが「道徳的向上」を必要としているなら、それは彼らである。

(リチャード・ワイカートは、カリフォルニア州立大学、スタニスラウス校の歴史学教授、ディスカバリー研究所「科学と文化センター」シニア・フェロー、『人間性の死、および生命の主張』その他の著書がある：

<https://www.amazon.com/dp/162157489X/?tag=discoveryinsti06>